

地球上にはいま、72億人の人たちが住んでいます。そのうちおよそ8人に1人、8億4,200万人の人たちが食べることができずに飢えで苦しんでいます。

けれども、

地球上に十分な食べ物がないわけではありません。

日本のような国では、多くの食べ物が

捨てられていたり、

食べ過ぎて病気になる

人もいます。

逆に途上国の貧しい地域の人たちは

食べるものがなくて

ギリギリの生活を送っています。



国連WFPは、

飢えで苦しむ人たちに食糧を届けている団体です。

飢えと貧困をなくし、みんなが食べられるようにすること。

それが、国連WFPの使命です。

確かに届ける、国連WFP





# 国連WFPの学校給食プログラム

子どもたちを貧しさから救いだし、自立していく道をつくること。

国連WFPは学校で「給食」を提供することにより子どもの成長を促し、

教育の機会をひろげています。



ひろがる未来...

START



学校給食がもたらしてくれるもの...

- ① 子どもが学校に通えるようになる
- ② 学校に行くと栄養たっぷりの給食が食べられる
- ③ 子どもたちの空腹がみたされ、健全に成長できる
- ④ 読み書きを覚え、知識を得られる
- ⑤ 子どもたちが自分の将来に夢を描くようになる
- ⑥ 子どもたちは学び、将来飢えや貧困をなくすリーダーに育っていくことも

学校に行けない子どもたち...

- ① 水をくんだり、まきを集めたり、家畜の世話をしたりすることで忙しい
- ② 食べられないから、病気になることもある
- ③ 時にはゴミ山をあさって生活する子どもも... 戦闘に駆り出されることもある
- ④ 学ぶ機会がないから、文字の読み書きができない。計算もできない
- ⑤ 低い賃金で、生きのびるのがやっと、そして将来に希望をもてない
- ⑥ 世代を超えて続いていく苦しみ

私たちに何ができるのかな？

食べや貧困について学び、お友達や家族に伝えてみよう。食べ物を大切にしよう。募金に協力してみよう。

つづいていく苦しみ...